

本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

USER'S GUIDE 1940*JA

- Shock resistant construction
- 20-Bar water resistance
- EL backlighting
- BPM Counter
- BEAT Operation
- 180 minutes countdown timer
- 1/100sec. stopwatch
- Alarm/Hourly time signal
- Full auto calendar

CASIO

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。未長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。
なお、この取扱説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

安全上のご注意

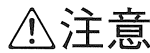
絵表示について

この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています。(左の例は感電注意)



○記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています。(左の例は分解禁止)



●記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています。(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)



警告

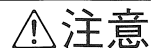
本機をスキューバダイビング(アクアラング)に使用しないでください。
※本機はダイバーズウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して下さい。



注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

- ①金属・皮革に対するアレルギー
- ②時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
- ③体調不良等

●バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。

●「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。

●万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとし、サビ易くなります。

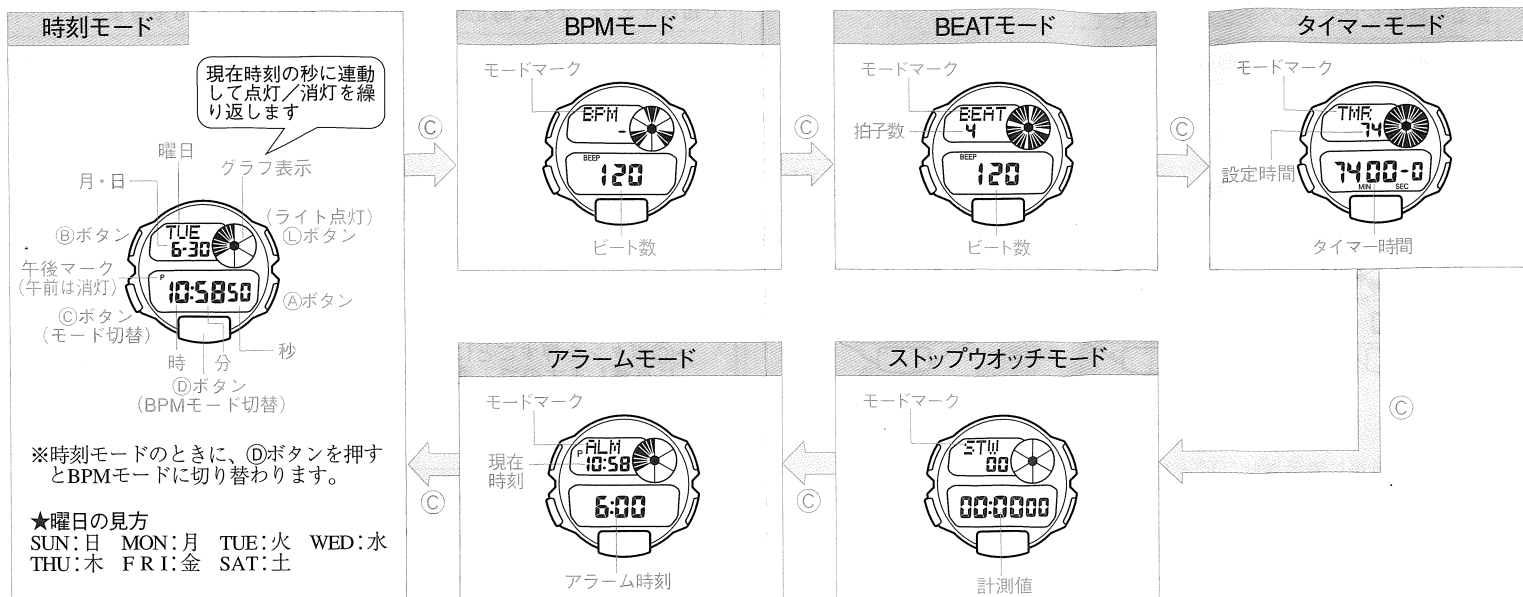
分解しないでください

本機を分解しないでください。本機が故障したり、ケガをする原因となることがあります。



操作のしくみと表示の見方

◎ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順で表示が切り替わります。



表示照明用ELバックライトについて

本機の表示部にはELパネル(エレクトロルミネッセンスパネル)が内蔵されており、暗いときに表示を明るくして見ることができます。

どのモード(表示点滅中は除く)のときでも、**L**ボタンを押すと文字板が発光します。

※時刻モード、タイマーモード、ストップウォッチモード、アラームモードのときは、約2秒間発光します。
※BPMモード、BEATモードのときは、約8秒間発光します。



＜EL発光についての注意事項＞

- 直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- 発光中にいずれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと発光を中断します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻・カレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。なお、月に1度くらい「秒合わせ」をすると、時刻はいつも正確です。

■秒の合わせ方…±30秒以内の遅れ／進みの修正

(1)時刻モードのとき、

◎ボタンを1～2秒間押し続けます

→「秒」が点滅します。

(2) 時報に合わせて、④ボタンを押します

→「00秒」からスタートします。
※秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります。(時報は「時報サービス電話117番」が便利です)

(3) セットが完了したら、◎ボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。
※点滅表示のまま2～3分すると自動的に点滅が止まります。

■時刻・カレンダーの合わせ方

(1)時刻モードのとき、

◎ボタンを1～2秒間押し続けます

→「秒」が点滅します。

(2) ◎ボタンを押します

→「秒→時→分→12/24時間制切替→年→月→日→秒…」の順で点滅が動きますので、設定したい箇所を◎ボタンで選びます。

(3) ④またはLボタンを押します

→④ボタンを押すと点滅箇所の数字が進み、Lボタンを押すと戻ります。
※④・Lボタンとも、それぞれ押し続けると早送りできます。

(2)～(3)の操作を繰り返して、「時刻・カレンダー」を合わせます。
※12/24時間制切替のときは、④ボタンを押すごとに12時間制表示(12H)と24時間制表示(24H)とが切り替わります。

★「時」のセットのとき午前／午後(P)、24時間制(24)にご注意ください。
★「時」は西暦で1995～2039年の範囲でセットできます。正しく年月日をセットすると、自動的に曜日が算出されます。なおカレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

(4) セットが完了したら、◎ボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。
※点滅表示のまま2～3分すると自動的に点滅が止まります。

製品仕様

水晶発振周波数: 32,768Hz

精度: 平均月差±15秒以内

基本機能: 月・日・曜日、時・分・秒、午前／午後(P)／24時間制(24)表示、フルオートカレンダー(1995～2039年)

BPM機能: 表示範囲=60～200

BEAT機能: ビート数 セット単位=1 セット範囲=60～200
拍子数 セット範囲=1拍子～8拍子
電子音=1分間

タイマー機能: プリセットタイマー=60、74、90、120、180分
セット単位=分 計測単位=1/10秒
タイムアップを10秒間の電子音で報知

ストップウォッチ機能: 計測単位=1/100秒

計測範囲=23時間59分59秒99(24時間計)

計測機能=通常計測、積算計測、スプリット計測、1・2着同時計測

アラーム機能: 時刻アラーム セット単位=時・分

電子音=20秒間

時報 毎正時に2回電子音で報時

その他: 自動復帰機能、12/24時間制表示切り替え、EL(エレクトロルミネッセンス)バックライト、デモアラーム

主要回路素子: 音叉型高性能水晶振動子 ワンチップCMOS-LSI

使用電池: CR-2016(電池別途販売)

電池寿命: 約2年

(ライト2.5秒間／日、電子音20秒間／日、BEAT機能1回／週・120BPMを1分間(ライト再生)使用した場合)

BPMモードの使い方

◎ボタンを押して、BPMモードにします。

■BPMモードについて

BPM*モードでは、1分間のビート数を60～200の範囲で計測することができます。音楽や動作のテンポを知るとき大変便利です。

※BPMモードの「ビート数」とBEATモードの「ビート数」は連動して表示されます。

*BPMとはBeats Per Minuteの略で、1分間のビート数を意味します。

●自動復帰…BPMモードのまま1時間ボタン操作を行なわないと、自動的に時刻モードに戻ります。

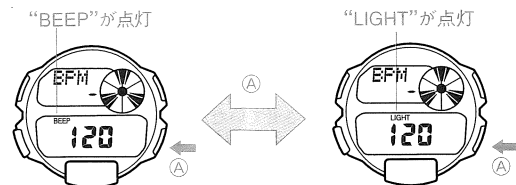
■ビート数を表示させる

ボタンを押してビートを入力します。
なお、ボタンを押すタイミングに合わせて「電子音を鳴らす」または「ライトを発光させる」ことができます。

(1)電子音入力／ライト入力の切替

BPMモードのとき、(A)ボタンを押します

→(A)ボタンを押すごとに電子音入力／ライト入力が切り替わります。
※電子音を鳴らしたいときは“BEEP”、ライトを発光させたいときは“LIGHT”を点灯させます。



<電子音が鳴ります>

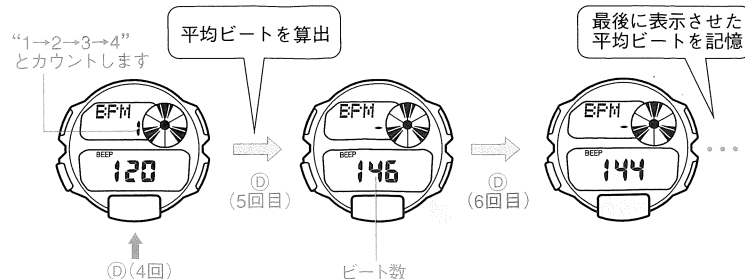
<ライトが発光します>

(2)ビートを入力する

音楽や動作などの一定のテンポに合わせて、

◎ボタンを押します (5回以上)

→◎ボタンを押していくと、4回目からその平均ビートが算出され、以後◎ボタンを押すごとに、算出された平均ビートを表示していきます。



※このとき最後に表示させたビート数を記憶します。

なお、ライト入力“LIGHT”を選んでいるときは、ビート数が確定した後、2秒間ライトが点灯して数値を知らせます。

※以下の場合、ビートは入力されません。

- ・◎ボタンを5回以上押さなかったとき。
- ・5回までのビート入力中に、2秒以上◎ボタンによる操作がなかったとき。

※ビート数は60～200の範囲で表示します。(60未満のときは“Lo”、200を超えると“Hi”と表示されます)

BEATモードの使い方

◎ボタンを押して、BEATモードにします。

■BEATモードについて

BEATモードでは、設定したリズムで約1分間「電子音を鳴らす」または「ライトを発光させる」ことができます。任意のビート数と拍子数を設定することができます。

※BEATモードの「ビート数」とBPMモードの「ビート数」は連動して表示されます。

●自動復帰…BEATモードのまま1時間ボタン操作を行なわないと、自動的に時刻モードに戻ります。

■ビート数／拍子数を設定する

(1)BEATモードのとき、

◎ボタンを1～2秒間押し続けます

→「ビート数」が点滅します。



ビート数

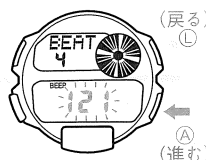
(2)ビート数のセット

(A)または(L)ボタンを押します

→(A)ボタンを押すと点滅箇所の数字が進み、(L)ボタンを押すと戻ります。

※(A)・(L)ボタンとも、それぞれ押し続けると早送りできます。

※ビート数は60～200の範囲で設定できます。
※表示が点滅しているときに、(A)・(L)ボタンを同時に押すと、ビート数が120になります。



拍子数

(3) ◎ボタンを押します

→「拍子数」が点滅します。

※もう一度◎ボタンを押すと、「ビート数」が点滅します。



(4)拍子数のセット

(A)または(L)ボタンを押します

→(A)ボタンを押すと点滅箇所の数字が進み、(L)ボタンを押すと戻ります。

※(A)・(L)ボタンとも、それぞれ押し続けると早送りできます。

※拍子数は1拍子～8拍子の範囲で設定できます。拍子数を設定することにより、第一音にアクセントをつけて電子音を鳴らすことができます。



(5) セットが終わりましたら、◎ボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2～3分すると自動的に点滅が止まります。

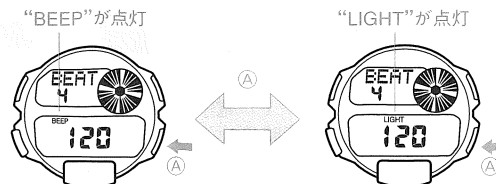
■再生のしかた

(1)電子音再生／ライト再生の切替

BEATモードのとき、(A)ボタンを押します

→(A)ボタンを押すごとに電子音再生／ライト再生が切り替わります。

※電子音を鳴らしたいときは、“BEEP”、ライトを発光させたいときは“LIGHT”を点灯させます。



<電子音が鳴ります>

<ライトが発光します>

(2)ビートを再生する

◎ボタンを押します

→設定されているリズムで約1分間ビートを再生します。

※電子音再生を選んでいるときは電子音が鳴り、ライト再生を選んでいるときはライトが発光します。

※◎ボタンを押すと再生を終了します。



アラームの使い方

◎ボタンを押して、アラームモードにします。

アラームは時・分を設定できます。セットした時刻になると20秒間の電子音で知らせます。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。

■アラーム時刻のセット

(1)アラームモードのとき、

◎ボタンを1～2秒間押し続けます

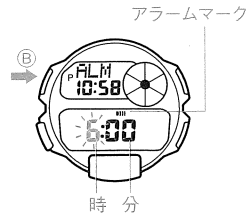
→「時」が点滅します。
※アラームONとなり、アラームマーク“**mm**”が点灯します。

(2) ◎ボタンを押します

→◎ボタンを押すごとに「時」「分」が交互に点滅しますので、設定したい箇所を◎ボタンで選びます。

(3) AまたはLボタンを押します

→Aボタンを押すと点滅箇所の数字が進み、Lボタンを押すと戻ります。
※A・Lボタンとも、それぞれ押し続けると早送りできます。



(2)～(3)の操作を繰り返して、「アラーム時刻」を合わせます。

★「時」のセットのとき午前／午後(P)または24時間制(24)にご注意ください。基本時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制表示となります。

(4) セットが終わりましたら、◎ボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。
※点滅表示のまま2～3分すると自動的に点滅が止まります。

■アラーム・時報のON/OFF設定

アラームモードのとき、

Aボタンを押します

→Aボタンを押すごとに、アラームマーク“**mm**”・時報マーク“**A**”が点灯／消灯を繰り返します。
※それぞれのマークが点灯しているときにONとなり、アラーム・時報が鳴ります。

■デモアラーム

アラームモードのときに◎ボタンを押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

■鳴っている電子音をとめるには
電子音が鳴っているときに、いずれかのボタンを押すと音が止まります。



タイマーの使い方

◎ボタンを押して、タイマーモードにします。

タイマーは1/10秒単位で減算計測を行ないます。残り時間が0(タイムアップ)になると10秒間報音して知らせます。

■タイマー時間の確認

本機には、60/74/90/120/180分があらかじめセットされている5本のプリセットタイマーと、1分単位で最大180分までセットできるタイマーが1本あります。

タイマーモード(計測リセット状態)のとき、Aボタンを押します

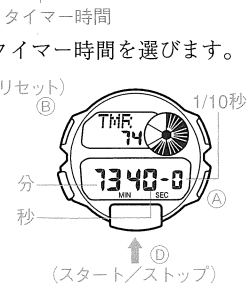
→Aボタンを押すごとに、タイマー時間が切り替わります。

■タイマーの使い方

準備: タイマーモードのとき、Aボタンを押してタイマー時間を選びます。

◎ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします

→減算計測は、1/10秒単位で行ないます。
※計測中、◎ボタンでストップ後、もう一度◎ボタンを押すと、表示タイムに引き続き計測を始めます。(ロスタイム計測)
※計測ストップ後、◎ボタンを押すと計測前の表示に戻ります。



■タイマー時間のセット

1分単位で最大180分までセットできるタイマーが1本あります。

(1)タイマーモード(計測リセット状態)のとき、

◎ボタンを1～2秒間押し続けます

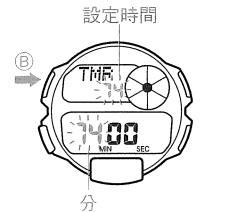
→タイマー時間の「分」と「設定時間」が点滅します。

(2) AまたはLボタンを押します

→Aボタンを押すと点滅箇所の数字が進み、Lボタンを押すと戻ります。
※A・Lボタンとも、それぞれ押し続けると早送りします。

(3) セットが終わりましたら、◎ボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。
※点滅表示のまま2～3分すると、自動的に点滅が止まります。
※タイマー時間をセットすると、設定時間の順に並び替えが行なわれます。



ストップウォッチの使い方

◎ボタンを押して、ストップウォッチモードにします。

ストップウォッチは23時間59分59秒99(24時間計)まで計測できます。

■計測のしかた

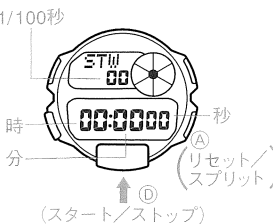
ストップウォッチモードのとき、

◎ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします

※計測中に、◎ボタンを押すと、計測が止まります。このときもう一度◎ボタンを押すとその時点から計測を再開します。(積算計測)

※計測中にAボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります。(SPL点灯)

※計測値を0に戻す(リセット)には、計測終了後Aボタンを押します。



★通常計測

スタート → ストップ → リセット

★スプリットタイム(途中経過時間)の計測

スタート → スプリット → スプリット解除 → スプリットタイム表示

★1・2着同時計測

スタート → 1着ゴール → 2着ゴール → 2着タイム表示 → リセット

ご使用上の注意

防水性 ●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキندайビング(素潜り)	×	×	○	○

※BARは気圧の意味で、防水性の高さを表わします。

※専門的な潜水=スキューバダイビング(アクアラング)でのご使用は避けください。

●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用は避けください。

●防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。

●防水構造の機種は、シャワー程度の温水では使用できますが、入浴等で長時間使用することは避けください。

●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。

●防水性を保つために定期的(2～3年を目安に)なバッキン交換をおすすめします。

●電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。(特殊な治具を必要とします)

●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態では、水仕事、水泳など直接水のかかるご使用は避けください。

バンド ●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

●樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。

●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

温度 ●自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり止まったりすることがあります。

●+60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

ショック ●腕につけたままでモトクロス、チェーンソー、削岩機などの強い振動を受けても時計には影響ありません。

●腕につけたままで激しいスポーツなどでのショックが加わっても時計には影響ありません。

磁気 ●磁気の影響はありません。

薬品類 ●水銀や化学薬品(シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類)が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

保管 ●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■お手入れについて

お手入れ ●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などのしめ、吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

●金属バンドは、時々、部分洗いをすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損なわれることがあります。

お手入れ ●「サビ」

を怠ると ●ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
●表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。

●「劣化」

●樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。

●「かぶれ」

●皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。

●万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

●特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れするか、金属バンドのご使用をおすすめします。

■蛍光商品のお取り扱いについて

蛍光商品のケース/バンドを使用しているものは、以下の点にご注意ください。

●長時間、直射日光に当てますと、色あせる場合があります。
●長時間、濡れたままにしておくとき色が落ちるおそれがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
●長時間、他の商品と密着させたり、濡れたまま他の商品と一緒にしておくとき、他の商品に色が移行することがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、密着保存を避けてください。
●プリントがしてある場合は、プリント部分を強くすると他の部分に色がつくことがあります。

■電池交換について

最初の電池 ●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。

※なお電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

消耗 ●電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。

●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

電池交換 ●電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。

●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

●電池交換の際、防水検査を行ないます。(防水検査は別途有料となります)

■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■ELパネル(表示照明部)の交換について

表示照明用として本機に使用しているELパネル(エレクトロルミネッセンスパネル)は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見える場合があります。このようなときにはお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。